平成 23 年 1月 1 日
第 44 号

# やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602




あけましておめでとうございます。

今年も家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと存じます。「八方原の環境を守る会」も発足して4回目の正月を迎えることとなりました。この間、会員並びに地域の方々のご協力で順風に活動を行うことができ、厚く御礼申し上げます。

眼前に広がる豊かに水を張った田んぼに小さなかわいい稲の苗が一面に植え付けられ、そしてしばらくすると銀色に輝いた稲穂を、大きな音響をさせたコンバインであっという間に刈り取っていく私たちの四季、生活のリズムは、この田んぼの移り変わりとともにあるようだとあるおばあちゃんがしみじみと仰ったことを思い出しました。

昨年3月、この豊かな田んぼを未永く維持していこうと「農事組合法人八方原」が設立されました。今八方原においても、農業従事者の高齢化、兼業化の進展が著しく、また農業機械への過剰投資など、このままでは意欲を持って農業に取り組もうという人もいなくなるのではとの、切実な声のもとに、当法人が設立されました。

私たちの活動はこの農地を中心にした素晴らしい住み良い八方原の現状を守ろうとしている活動組織です。せっかく設立された法人を私たちの活動で少しでも後押しできれば、住み心地の良い環境に役立つものと思います。

最後に、会員皆様方の今年のご健勝、ご多幸を祈念して新年のご挨拶といたします。

八方原の環境を守る会

代表 原田憲一郎

# 冷え込みの朝 水路の泥上げ

八方原の環境を守る会では水路改修工事に先立ち、本格的な業者作業にかかる前に水路底の泥の除去作業を行いました。

用水送水管の下にある水路の改修が始まりました。工事にかかる前の準備作業として、水路の底にある泥の除去を12月12日に行いました。

隣接耕作者の重冨賢二さんによると「この水路の泥上げは田植え前に実施しているので半年分だ。」とのことでしたが、その泥の量はそんなものには思えないような多さでした。


水のなかに入って、泥の除去を行った

作業をした約80メートルのうち約半分ほどは水が溜まっていました。つまり本来あるべき勾配が逆さまになっているということです。乾いている部分は泥の深さが数センチに及びました。スコップにすくいとると、その重さがずっしりと体にかかります。

この工事は予定金額71万6千円となっています。7割（通常は5割負担ですが、農業施設は7割）は市の法定外公共物整備事業補助金が決定していますので、残りの3割を当会が負担することにしています。

## 次世代に守りながらつなげよう かけがえのない資源

12月3日「農村環境の未来を考える研修会」が県総合保健会館で行われ、県内から８００人を超える参加者が集まりました。先進的な取り組みを、学ぶことができ、活動のポイントになる貴重な情報も得ることができました。


先進事例がシンポジウム形式で発表された

# シルバーパワー三角公園をクリーンアップ



一本ずつ丁寧に雑草を取り除く参加者

12月19日八方原老人会は、三角公園の清掃奉仕作業を行いました。他の奉仕作業との重なりもありましたが、34名の参加があり、公園の地面にはびこる小さな雑草まできれいに取り除かれました。ご苦労様でした。

# 菊づくり名人　藤田　貢さん

1班の藤田貢・洋子ご夫妻の自宅には毎年春から秋にかけて、さまざまな菊の鉢が並びます。苗づくりから始まり、コンクールに出品するまで絶え間なく菊のお世話をされています。

菊を始められたのは数年前です。教えてもらった通りに育てた菊がコンクールで好成績をおさめました。それから俄然熱が入り、毎年のように大きく、姿の美しい作品を育て上げておられます。



専門家からも評価の高かった作品

花の大きさや形だけではなく、葉の色や全体の勢いなど細かな気配りが必要になります。手入れも細心の注意が払われます。そうして育てても毎年同じようにはいかないところが、難しさです。「日差しや気温の条件、それを補おうとする肥料の具合、なかなか思うようにはいかん」と手入れを休むことなく貢さんは話してくれました。

昨年の夏の猛暑は、菊にも大きな影響があったようです。グループのベテランが予想外の気象条件に振り回されるなか、藤田さんの菊は順調でした。「肥料の加減がたまたまうまくいった」とにこり。

秋に花の終わった菊は、短く切り揃えられ、新しい芽を待ちます。その芽を苗にして春からの栽培が始まります。「菊づくりは土づくり」、すでに準備は始まっています。今年も美しい菊を見せてください。



懸崖と言われる小菊の集合体

# 新春のチャレンジ 市民駅伝

1月16日（日）、阿知須のきらら博記念公園で行われる第6回山口市民駅伝大会は予想以上のエントリーとなりました。当初は2つのレースで予定されていましたが、エントリーが多く新たに「一般3部」というレースが行われることになりました。



第5回大会のスタート

「チームハッポウ」は午後0時スタート予定の「一般3部」に出走します。これはエントリーをする時に「予定完走タイム」を控えめに出したためですが、本番では遠慮なく激走する予定です。小郡区域から自治会単位では八方原区だけです。

現在のところ出走予定メンバーは杉山均さん、原田広文さん、国田純一さん、国本康喜さん、区長原田茂樹がくるのですが、他にも原田裕基さん、原田昌通さんにも予定を伺っているところです。まだまだ間に合います。走り屋の奮起を期待しています。事業所の方でもOKです。6日の監督会議までなら変更可能ですからね。

チームハッポウ監督　原田茂樹

☎090・3375・5384

# 相次ぐ自転車放置

昨年末から、どこかで盗まれて地区内に乗り捨てられた自転車が、相次いで発見報告されています。

山口南警察署生活安全課に相談に行ったところ、「とにかく不審な人が地区内に入ってきた時に声をかけてみてくれ」とのことです。地域の目があるぞと言う抑止力が重要だということでした。

区長